

仲間づくり

生きがいつくり
大好きひたちづくり
シニアライフを
豊かに生きるために

熟年



熟年ネット・ひたち

着実に発展、共催・自主活動

第11回(日立市社会福祉協議会と共催となって4回目)の「シニア地域活動入門講座」は、13名の受講者を得て開講し、順調に6回の講座を行なった。

地域資源活性化を目指す「郷土ひたち・ネット」が、工業都市日立を興した明治の先人の活躍を分かりやすく纏めて制作発行した冊子『日立村物語』に、多様な分野・個人より強い関心が寄せられた。

「Jネット・オカリナハート」は定期練習に加えて毎週行なっている出前演奏の努力もあって、8周年記念コンサートを盛大に開催した。

シニア地域活動

入門講座 開講

平成22年度「シニア地域活動入門講座」は5月19日に開講した。

市社協との作業分担は過去3回の活動により定着したが、受講者の確保が最大の課題であり、主たる広報媒体である「市報」と「社協だより」

第6回

「料理と

井戸端会議」



↑餃子皮作り
井戸端会議→

のキャッチコピーは「地域社会の仕組みや文化を、新しい仲間と共に楽しく学び、新たな生きがいを見つける講座です。」と分かり易くした。結果は市社協の熱心な勧誘もあって昨年度より2名増え、13名の受講者でスタートした。

開講式の基調講演である茨城大学長谷川准教授の「これからの活動に向けて期待すること」というテーマでの講話はユーモアを交えながら、新たな活動を志すシニアにぴったりの内容だった。2回目以降は「シニアライフを心豊かに生きる」「地域・ボランティア活動について学ぶ」「J-netの紹介」「日立村物語」「井戸端会議」などの講座が行なわれた。

受講者は大変熱心に受講しており、スタッフ一同一層心をこめて、残り4回の講座を推進する意気込みである。

郷土ひたち・ネット

『日立村物語』発行

日立市には、誇るべき多くの地域資源があり、郷土ひたちをみんで学び、みんなで活かすことを目指して発足した「郷土ひたち・ネット」も努力してきたが、地域資源に関心が薄い日立の文化の壁に阻まれ、活動の広がりは難しい状態であった。

しかし、日立の先人の活躍を分かりやすく伝えれば、必ず理解していただけると信じて、試行錯誤を繰り返しながら冊子『日立村物語』を制作し三千部を発行した。

結果は、先人の志や活躍が分かり易いとして、教育・交通・産業・福祉・行政・ホテル・マスコミ・個人など多くの分野より強い関心が寄せられ、追加発行が必要となっている。

これからは、『日立村物語』を中心として、周知、仲間づくり、活性化など幅広い活動が計画されている。

市民が冊子作成



平成22年7月10日 茨城新聞

Jネット・オカリナハート 8周年記念コンサート

Jネット・オカリナハートが結成8周年を迎え、6月2日「オアシスカみね」に於いて記念コンサートが行なわれた。

日ごろの出前演奏で人前での演奏に慣れているとはいえ、満席の聴衆(約100名)を前にして皆緊張しながらこれまでの練習の成果を披露した。



コーヒープレイクをはさんだ3部構成で、叙情歌、ナツメロから吉田メロデー、最近ヒットした「アメイジング・グレイス」など広いレパートリーから24曲を演奏した。合唱指揮者佐川文雄さんのリードで満員の聴衆も一緒に数曲歌うなど、舞台客席共に盛り上がった楽しいコンサートとなった。

最後に「ふるさと」の演奏に合わせた全員の合唱の後、大きな拍手で幕を閉じた。



楽習会



ミニ撮影会

(5/13)

初の試みとしてデジカメによる動物撮影会をかみね動物園で開いた。参加者24名。

初めてデジカメを使う人、奥様のカメラを借用し使い方が分からず戸惑う人もいたが、真剣に動物と対峙し、シャッターチャンスを狙いカメラに収めていた。日頃は来る機会も少ない動物園だが、童心にかえり和気藹々と楽しいひと時を過ごした。

それぞれの自信作品をプリントし、額に入れて持ち寄り6/10の井戸端会議の折、ミニ写真展を開催。36点の力作が集まった。

初の試みの撮影会であったが楽しい企画となった。

(岩本 浩)



日立の漁業を学ぶ

(6/24)

日立の水産資源について、茨城県水産試験場の高橋正和主任研究員に講演を頂き、28名が参加した。

茨城沖は、親潮と黒潮が混り合う地域で、魚のエサとなるプランクトンが豊富で魚の種類も多く、約500種もの魚介類がいるという。日立はその中心で川尻・会瀬・久慈など6漁港があり、会瀬では定置網漁法が古くから行われ、今でもクロマグロが獲れるそうです。

また、川尻・会瀬では朝市を行い、久慈では子供達のための水産教室を開くなど、各漁協では市民に親しまれる努力をしています。そして、「日立の海はきれいで、新鮮なおいしい魚が食べられる貴重な所なので、大切に保存したいものです」と話された。

(尾沼 信義)



県政出前講座

(5/27)

健康の源である「食」について、県農林水産部園芸流通課「うまいもんどころ推進室」の岩瀬明人さんにお話をいただいた。「うまいもんどころ」とは、「うまいものがあるところ」と水戸黄門の「紋所」を合わせた農林水産物の統一キャッチフレーズだそうで、当推進室ではこれらの安全・安心に取り組んでいるとのこと。

茨城県は農林水産物にこれと言って特徴がないほど何でも収穫でき、生産量日本一の産物も数多く、豊穡な大地と海に恵まれた食の大国であることを改めて認識させられた。

講演はメロンや梨のおいしい食べ方やナスの苗木の育て方まで、ユーモアを交えて話された。身近な話題だけに皆興味津々で、これからの食生活に大いに参考になった。

参加者26名 (福田 常実)



合唱指揮者に関く

(7/8)

日立市民混声合唱団ほか多岐にわたる指揮活動54年の佐川文雄氏を講師にお招きして、絶妙なトークと発声実演を中心にワクワク・ドキドキの楽習会になった。

合唱指揮のあゆみから、仕事を通して海外との合唱交流、県内唯一の男声合唱団や今後楽しみな小中学生の指導、そしてグループ・ピニオン入会の経緯などをパワーポイントを巧みに使ったトークと、代表的な演奏記録をテープで聴きながら前半を終了。

後半は発声法と健康について、腹式呼吸を中心とした話と発声指導で、12名の会員外参加者を加え38名の混声合唱団の響きが会場にあふれ、歌う楽しさを味わった。

(小林 勇作)



新聞あれこれ

(7/22)

茨城新聞社岡田日立支社長に「新聞あれこれ」というテーマでお話を伺った。参加者25名。

全国紙の発行部数は多いが、現在はテレビ・インターネットとの関係で購読者が減少して厳しい状況とのことである。茨城新聞など地方紙は、地域の話題や産業などテレビなどには出ない記事が載るので、利用する人は多いが購読数が少ないのが悩みとのことである。

紙面の構成など色々と工夫されていて、地元の情報源として地方紙の大切さが良く理解できた。

(宮下 郁郎)



井戸端会議 (2)

(6/10)

通常の井戸端会議に先立ち、5/13に実施した楽習会「ミニ撮影会」の作品鑑賞のひと時を設けた。

その後行われた伊藤さんによるデジカメ撮影時のワンポイントレッスンが好評であった。参加者28名。

井戸端会議は3グループで、石井さんリードのリラックス体操から始まり、従来のフリートーク形式で行われた。井戸端会議に於いては、まとめの発表を楽しみに聴いている人が多い反面、発表する役にはなりたくないという人もいると思う。しかし仲間内の発表であり、とりとめの無い話でもいいのではないかと。遠慮せずおしゃべりしようではありませんか。

その他、時事問題など井戸端話題には事欠かない状況で無事終了した。

(三ツ井 義弘)

ボランティア・自主活動

ハーモニーフレンス 全日本ハーモニカ連盟より受賞

4月25日東京御茶ノ水の寿楽園で開かれた全日本ハーモニカ連盟の総会で、ハーモニカ賞を受賞した。

「ハーモニカ音楽の普及発展に尽くし、ハーモニカを通して社会に多大な貢献をした」ことを認められての受賞である。これはひとえにJ-netの皆さんをはじめ大勢の方々の応援のおかげと感謝している。

全国で7グループのハーモニカ賞に選ばれたことを誇りにして益々励み、より多くの方々に喜んで頂けるようにこれからも頑張っていきたい。(鈴木 重四郎)



おもちゃの病院 折り紙教室も開設?

7月17、18日の2日間、新都市広場とマーブルホール他で「環境都市フェスタ 2010」が開催された。いつものように広場の猛暑と裏腹のホールの涼しさの中での参加となった。エコの製品や、エコに徹した生活様式など様々な出展グループの中で、「壊れた玩具を直して使う」という、物の大切さをアピールすることを参加目的とした。

電動化した牛乳パック車は子供たちの興味の対象となった。また広告チラシで作る「折り紙リュウキン」に興味を持つお客さん(お孫さん連れのおばあちゃんやお母さん)につぎつぎと折り方を伝授。そのうちあちこちに涼しそうな「金魚暖簾」が見られるかも知れない。

おもちゃの病院のチラシを初めて見て驚かれる人もいて、「病院の知名度はまだまだ」であることも知った。(小林 勇作)



郷土ひたち・ネット ひたち環境都市フェスタに出展

「郷土ひたち・ネット」は7月17、18日に開かれた標記のフェスタで、マーブルホールに於いて「日立市の誇り 日立鉾山の大煙突物語」のパネル展示と、冊子『日立村物語』の展示販売を行なった。

パネル展示では、道義を基として苦心惨憺を重ね、大煙突によって見事に煙害を絶滅して緑を蘇らせた先人の活躍に感動する方が多かった。

『日立村物語』はまとめ買いする女性もおり、偉大な先人の活躍を広く知って頂くことができた。(掛札 優)

ウオーク会 堅破山ハイキング

前夜の雨でまたしても開催が危ぶまれたが、7月10日夏日の晴天となり、無事実施することが出来た。

今度は暑さを心配したが、綺麗に整備された登山道は木々に囲まれており、前夜の雨で地面がしっとりと濡れ、ちょうど良い冷気を誘ってくれた。時折森にこだまするウグイスの美しい鳴き声を聞きながら、気持ちよく登ることが出来た。

巨石に不動石、烏帽子石、手形石といくつかの名前が付けられているが、源 義家が太刀で割ったという「太刀割石」はさすがに見事であった。「たちわりいし」がなまって「たつわれさん」という山名が生まれたという。頂上の展望台に上がると360°見渡すことが出来、そこで奏でたケーナの響きも回りに溶け込み一興を添えた。

参加者7人とちょっと少なかったが、久しぶりの好天に心地良い汗をかいたハイキングであった。

(山本 三男)



河原子海岸清掃グループ 綺麗な浜辺に!

河原子海岸清掃は現在11名で月2回活動をしています。1回の活動時間は1時間程度で、ゴミの収集は主にペットボトルやビン類、カン類、プラスチック製品が中心です。各自思い思いに大きな袋を用意し収集をしています。最近大きなレジ袋が手に入りやすく苦慮しています。

河原子海岸は環境省の海水浴場百選に選ばれた海岸、この夏には「ひたちサンドアート」も行われました。ゴミの無い美しい海岸になることを夢みながら、地味なボランティアですが息の長い活動にしたいと思っております。

(富田 滋男)



郷土ひたち・ネット展示



冊子「日立村物語」



インフォメーション

楽習会(8~11月)

月/日	楽習テーマ	場所
8/12	お茶の話	女性センター
8/26	井戸端会議	
9/9	記録映像鑑賞	
9/30	続・鉄道の話	
10/7	日立市の財政について	集合場所未定
10/28	茨城空港見学	
11/11	ふるさと探訪(日立再発見)	未定
11/25	芋煮会	

※ 講師の都合により 8/26 9/9 10/7 の予定が入れ替わりましたのでご了承下さい。

「シニア地域入門講座」(8~9月)

月/日	内容
8/11	わが町日立の魅力再発見講座2 (バスによる日立村めぐり)
8/25	郷土博物館見学 新装されたかみね動物園を楽しむ
9/8	豊かに生きる心を学ぶ 日立市のNPOについて
9/22	閉講式 修了交流会

挑戦してみませんか?

第3回 ふるさと日立検定

- ・開催日 平成22年10月17日(日)午前10時~
- ・会場 日立商工会議所及びシビックセンター
- ・受験料 一般 1,000円 中学生以下 500円
- ・受験対策セミナー
日時 9月10日(金)・9月15日(水)
場所 商工会議所

投稿歓迎します。

広報委員会では「ちょっといい話」「お勧め情報」「暮らしのヒント」など、会員の皆様の投稿を募集しています。



リレー随筆

やっぱり新型商品は素晴らしい! 平田 順一

私たちの世代は、戦後の物不足の時代に『ものを粗末にはしていない』と言われて育ったせいで、“もったいない”精神が染み付いている人が多いと思う。私も色々なものを大切にして、技術的な陳腐化や修理不能といわれるまでは、安易に買い換えをしないうえに。我が家では、車も洗濯機も冷蔵庫もエアコンも10年以上使っている。

但し、テレビは使用9年目で機能上は何の問題も無かったが、地デジ化への対応とエコポイント制度の特典も有ったので、今年3月に地デジ対応の液晶テレビに買い換えた。事前に、インターネットや雑誌などで各社製品の機能やユーザー評価や価格を綿密に比較し、新潮流となっていた録画機能付の機種を選んで購入した。(地デジチューナーを3つ内蔵し、外付けハードディスクにW録画しながら視聴もできる。)

新しいテレビでは、電子番組表から好みの番組を予約して録りため、時間に縛られることなく自由に視聴を楽しむことができるようになり、テレビとの付き合い方が、大げさに言えばライフスタイルが大きく変わった。この経験を通して、IT技術などが革命的に進歩をしている今の時代は、“もったいない”精神で旧型を使い続けていたら、新技術を駆使した新商品がもたらす快適な生活のチャンスをみすみす逃してしまうのではないかと痛感した。

これからは、様々な新技術・新商品情報への感度を高め、コストパフォーマンスを見極めつつ懐具合も見ながら新技術商品を購入し、一層のライフスタイル改善を心がけたいと思う。なお、私たちの世代の購買意欲が揚がれば、景気が浮揚するとも言われているので皆さんのご賛同を期待します。



ちょっといい話 畑山 和子

6月に行ったスイス旅行での出来事です。ホテルでの食事が終わり、支払いを済ませて部屋に戻りました。慣れないスイスフランで計算書のままに払ったのですが、金額が思ったより少ないのです。よく見ると夫が追加注文したビールが入っていません。翌朝レストランの支配人にその旨を伝えると、彼はとても喜んで「あなたは正直な人だ。追加のビールは私からのプレゼントです。」と料金を受け取りませんでした。

その話を旅行の添乗員氏に話したところ、「日本人に対する印象を高めるのに貢献して下さいありがとうございます。私たちも仕事がしやすくなります。」と喜んでくれました。ちょっとうれしい旅の思い出です。

【編集後記】 掛札代表のライフワークともいえる『日立村物語』が出版された。この物語に登場する偉大な先人たちがいなければ、現在の日立市は無かつたろうとのこと。住民、働く人々、地域のために真心を尽くした人たち…。私たちはこの先人たちとその偉業を町の誇りとし、多くの人に伝えなければならぬと思う。そして彼らの心を受け継いで、周りの人のため、また町のために、できることを少しずつでも実行していくことが明るい街づくりに繋がるのではないだろうか。(編集子)

発行：熟年ネット・ひたち
代表世話人 掛札 優
編集：広報グループ
住所：〒317-0072
日立市弁天町2-12-10
Tel/Fax：0294-21-1345
E-mail：jnet-hitachi@lapis.plala.or.jp
http://www10.plala.or.jp/j-neth/